

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	三菱ガス化学新潟工場 新事務所 北区 松浜町3500番地 1種住居、工業地域、 事務所、 2013年1月 予定 941,242.00 m ² 1,192.23 m ² 2,529.07 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2012年8月8日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40}{33} = 1.2$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.8		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.3		建物の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.7		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

景観について新潟市景観条例に適合し、敷地内や周囲の環境に配慮した色彩計画としています。

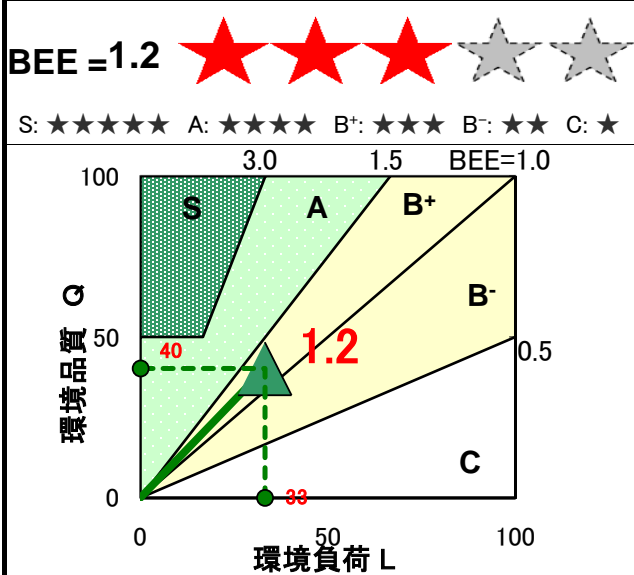
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

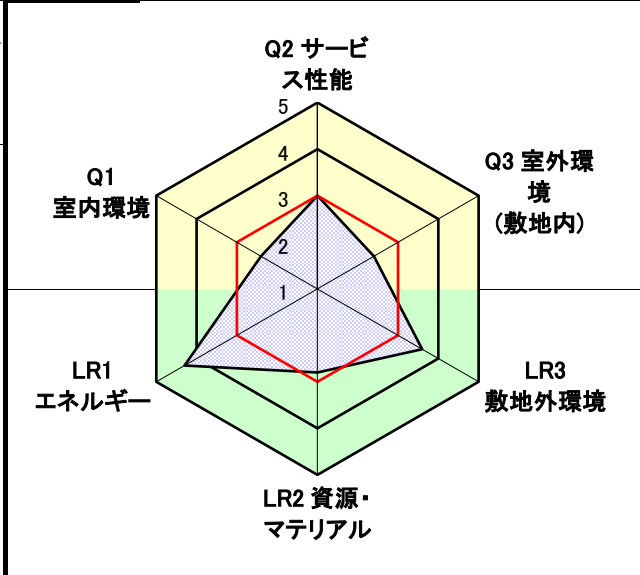
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

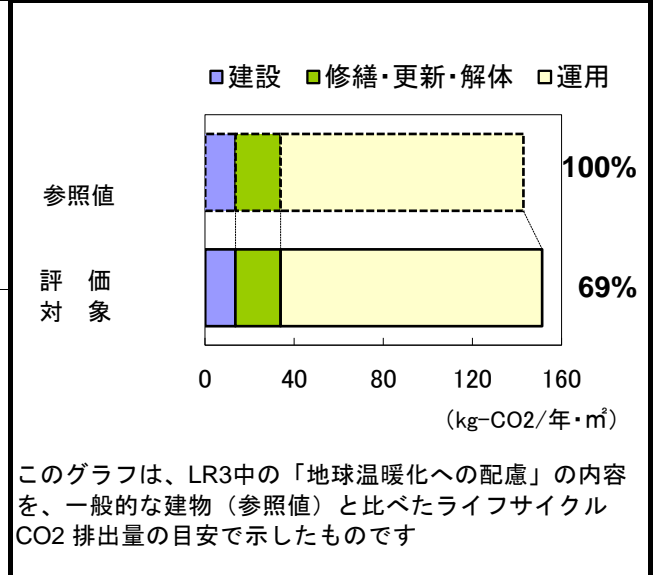
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



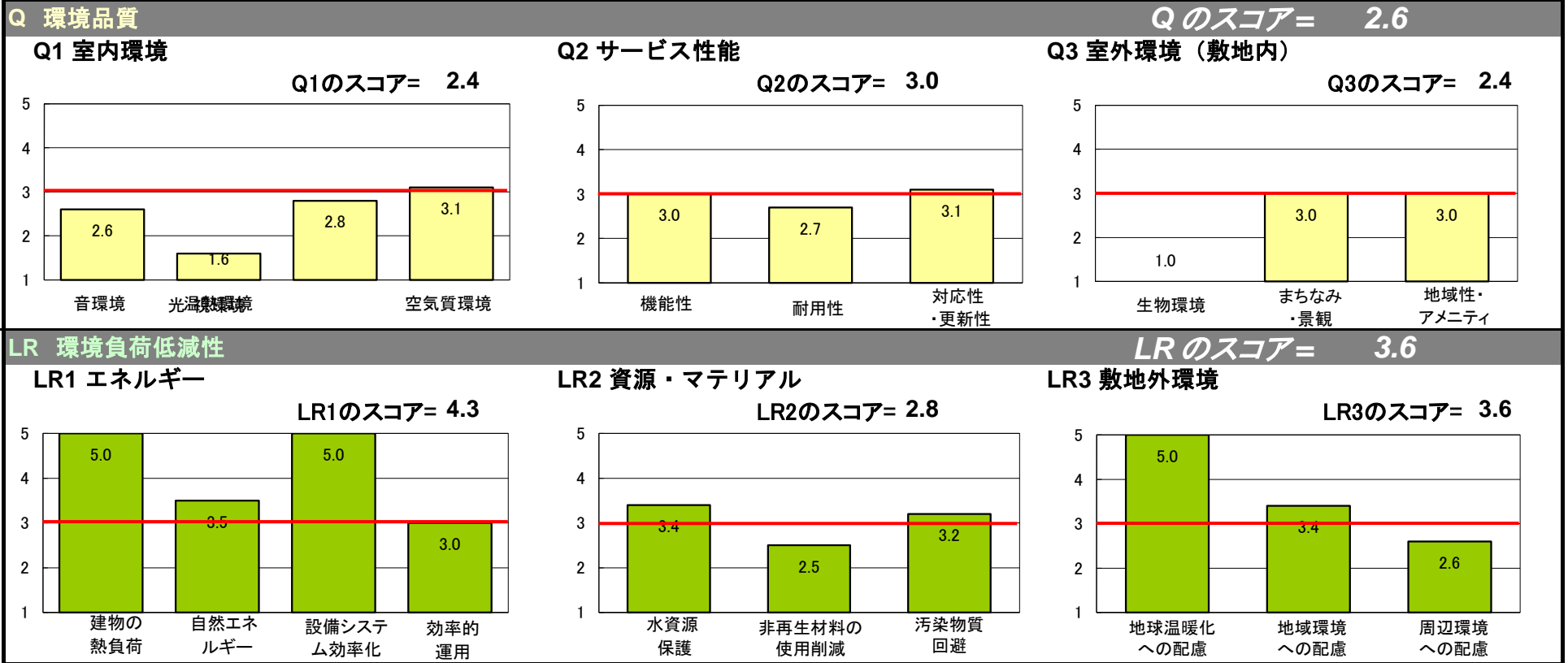
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 景観として、敷地内の色彩に配慮しています。また照明設備にLEDを採用することで省エネに配慮しています。	その他 特にありません。
Q1 室内環境 天井裏以外の床・壁・天井にF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 事務室は基本的に2.7m以上を確保し広い空間を確保。喫煙室の他に休憩室を設けている。一番低い階で3.75m確保。
LR1 エネルギー 空調対象室には全熱交換器を設置し、空調負荷低減を図っている。 照明設備にLEDを採用している。 厚生棟廊下にはトップライトを採用している。	LR2 資源・マテリアル 女子トイレに擬音の省水型機器を採用。 ハロン消火剤を使用していない。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率69%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される